

- 特集① とやまの森を守り育てるために
- 特集② 「人づくり県」富山を目指して
- 県政Q&A ●県政の動き ●県政クイズ
- 新総合計画骨子に対するご意見募集
- 皇太子殿下をお迎えして、第22回全国「みどりの愛護」のつどい
- 元気レシピ「たけのこまんじゅう」 ●おでかけ情報



富山から全国に、 夢を発信し続ける、 アニメプロデューサーの挑戦。

堀川憲司さん(南砺市)



南砺市・城端を拠点にアニメの制作を手がける、アニメプロデューサーの堀川憲司さん。ここ富山から全国に通用する作品を作り続けている。会社を設立したのは2000年のこと。以来、TVアニメ『true tears』や映画『レイトンの教授と永遠の歌姫』などの良質な作品を発表。また、「とやま県民家庭の日」作品コンクールで知事賞を受賞した小学生の作文のアニメ化や、富山の観光の魅力を国内外に発信するアニメ『泣かせる空に会いたい』への制作参加など、県民にも親しみのある作品を生み出しています。とりわけ、『true tears』では、舞台となった城端に全国から次々とファンが訪れ、地域を活性化するきっかけとなりました。



TVアニメーション「true tears」
©true tears 製作委員会

堀川さんが良い作品を作るために最も力を注いでいることは、優秀な人材の育成です。「良質な作品作りには全部門が一カ所に集まり没頭できる環境が必要」との考えから、本社城端に、平均年齢27歳の若いスタッフ約60名を集めました。切磋琢磨できる仲間と技術を学べる先輩と一緒に作品の制作に集中でき、みんなで達成感を共有できる環境を整えました。「スタッフが、この作品は自分が手がけたと誇りをもって言えるようにしてあげる。それが僕が一番の仕事です」。

設立から11年、目標としてきた人材の育成や、良質な作品づくりも実を結びつつあります。「観ている人を元気にしたいという思いがある。明日も頑張ろうと思える、夢のある作品を作っていきたい」と熱く語る堀川さん。これからも富山に腰を据えながら、アニメへの挑戦は続きます。



「とやま県民家庭の日」
アニメーション化プロジェクト
「マイの魔法と家庭の日」
©2011富山県・株式会社ピーエーワークス

そのほか、「ヤングジョブとやま」において、フリーター等の就職に関する悩み相談や就職活動の指導にも取り組んでいます。今後とも、関係機関と緊密に連携し、本県の将来を担う若者の雇用対策に全力で取り組めます。

また、今年度は、新規学卒未定者等の採用を確保するために、経済団体等と連携して県独自に推進している「県内企業人材養成モデル開発事業」を拡充するほか、学生と中小企業の雇用のミスマッチの解消に向けた取組みを行うなど、新規学卒者の就職支援を強化します。

Q 新規学卒者の就職支援など、若年者の雇用対策にどのように取り組んでいるのか、お聞かせください。

県政Q&A 県政に関するご質問に 知事が答えます!!

皆様のご意見をお待ちしています。
「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

- はがき・手紙 〒930-8501 県庁広報課
- FAX 076-444-3478
- インターネット <http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>

この件の
お問合せは 県労働雇用課 ☎076-444-8897
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1303/



特集 1 県民全体で支えるとやまの森づくり

とやまの森を 守り育てるために

豊かな水と緑に恵まれた県土を支えるとやまの森。県民全体の大切な財産である豊かな森を、これからも守り育て、次の世代に引き継ぐために、今後の森づくりをどのように進めるか、最終年度を迎えた「水と緑の森づくり税」のあり方も含めて、幅広い県民の意見をお聴きしながら検討していきます。

みんなで支える
とやまの森づくり

森を守るための
主な取組み

「水と緑の森づくり税」

県民税の均等割りの税額に一定額を上乗せして納めていただいています。

個人	年額 500円
法人等	資本金等の額に応じて年額1千円～4万円

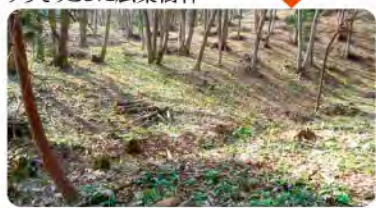
5年間税収合計額(見込み)
約16.7億円
(年平均約3.3億円)

平成18年6月、富山県森づくり条例が制定され、県ではこの条例に基づき、とやまの森づくりの基本指針となる富山県森づくりプラン(計画期間…H19～28年度の10年間)を策定。前半の5年間は「水と緑の森づくり税」を活用して、「多様な森づくり」と、「とやまの森を支える人づくり」を進めてきました。

地域や生活に密着した里山林の整備や、森林の持つ機能を高める混交林の整備、さらに森林ボランティア活動の支援や森づくりへの県民意識の醸成などに取組み、多くの県民の皆さんの参加と協力を得て着実に成果を上げています。



うっそうとした広葉樹林



日が射し込む明るい里山林に整備

「富山県森づくりプラン」の目標と実績

①里山林の整備

実績見込み (H19～23年)	未整備面積 (H24～28年)	目標 (H28年)
1,298ha	702ha	2,000ha

②混交林の整備

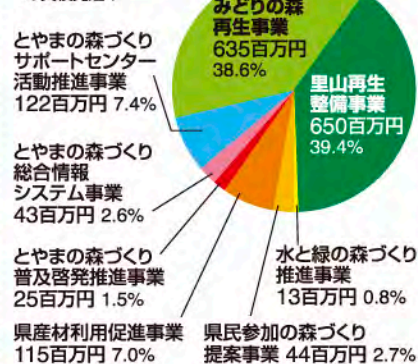
実績見込み (H19～23年)	未整備面積 (H24～28年)	目標 (H28年)
700ha	1,300ha	2,000ha

③県民参加による森づくり年間参加延べ人数

実績 (H22年)	目標 (H28年)
10,262人	7000人

水と緑の森づくり事業費

※前期5年間(H19～23年)の実績見込み



立山山麓の森

未来へ繋ぐ 水と緑の森づくり

とやまの森づくりを進める財源としている「水と緑の森づくり税」は平成23年度までとなつていきます。そのため、森づくりプランの前半5年間の実績を踏まえ、後半5年間の森づくりをどのように進めるか、「水と緑の森づくり税」のあり方も含めて、幅広い県民の意見を聴きながら検討することが必要となつていきます。

昨年度、県民及び企業経営者を対象としたアンケート調査や県内3カ所で行ったタウンミーティングでは、多くの方から森づくり税の延長や事業の充実を求める意見をいただきました。また、野生動物やカシノナガキクイムシによる被害、竹林の拡大などへの新たな対策の充実を求める声が多く、今後の取組みに対する期待感も高まりました。

今年度は、これらのご意見を踏まえて十分検討のうえ、森づくりプランの後期5カ年計画を策定していくこととしております。7月にはパブリックコメントを実施する予定ですので、是非、皆さんのご意見をお聴かせください。

Interview

里山の利活用で広がる地域交流の輪

伏木ふれあいの社 管理協力会
会長 山 孝之さん 事務局長 新保 彪さん



伏木地区にある氣多神社の清掃活動中、隣接する森林、竹林の荒廃が目についたのがきっかけとなり、平成19年度から里山再生整備事業を活用して、竹林と広葉樹林の整備を進めることとなりました。

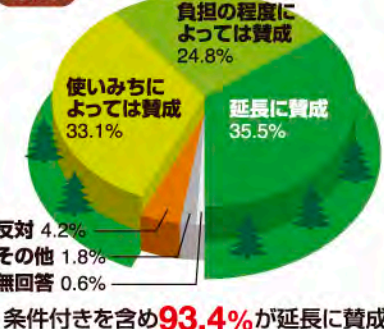
管理協力会内に森林整備ボランティア組織「まさかりの会」を立ち上げ、5年目となる今年も、地域の保育園児や小学生・高校生と一緒に、たけのこ掘りやタケチップを活用したカブトムシの幼虫の飼育など、よみがえった里山林で、森の恵みを利活用

しながら、「楽しく」整備を進めています。また、伏木曳山祭の山車の材料となるカシの木を曳山実施町内とともに植樹、保育するなど、地区の森林を預かる使命感もあり、意欲を持って整備を進めています。

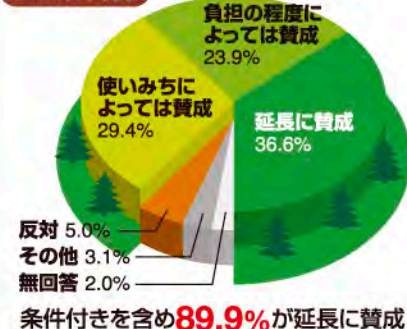
これまでの取組みを評価いただき、第12回とやま森の祭典にて「水と緑の森づくり表彰」を受賞し、大きな励みとなりました。今後も、地区を活発にし世代を超えた交流の場として、継続的な里山の利活用を進めたいと思います。

意識調査結果 「水と緑の森づくり税」の期間の延長について

県民



企業経営者



県政の動き 2011 4 ▶ 5

最近の動き

- 4 3 富岩水上ライン運航開始式
- 6 東日本大震災に係る市町村防災主管部長会議
- 11 知事と若手経営者によるとやまの産業の発展を考える会(魚津市)
- 13 東日本大震災に係る第一次災害救援ボランティア派遣の出発式(*)
- 20 県議会議員選挙当選証書付与式
- 20 第2回 富山県総合計画審議会(計画骨子案)
- 24 石井知事の福島県訪問
- 27 とやま科学オリンピック実施委員会
- 5 2 県議会臨時会
- 6 腸管出血性大腸菌による食中毒に関する緊急市町村衛生主管部局長会議
- 8 中国経済・観光訪問団の派遣(～12日)
- 13 皇太子殿下下行啓(～14日)
- 14 第22回 全国「みどりの愛護」のつどい(※裏面に関連記事)
- 21 富山県スポーツフェスタ総合開会式などタウンミーティング～新総合計画～(南砺市)
- 24 第1回 水と緑の森づくり会議
- 26 とやま森の祭典・県民参加の森づくりフェア
- 29 タウンミーティング～新総合計画～(黒部市)



(*) 知事からの激励を受けた災害救援ボランティアの第1陣16名が被災地に向け出発した。

今後の予定

- 6 10 県議会定例会(～28日)
- 11 砂防フェア2011(10:30～ 総曲輪フェリオグラウンドプラザ)
- 19 エコライフ・アクト大会(13:30～ タワー111)

新総合計画骨子に対するご意見を募集しています。

新総合計画骨子については、県ホームページ又は県庁(県民サロン、情報公開総合窓口、知事政策局)、地方県民相談室などでご覧いただけます。

募集期間 / 6月20日(月)まで

※ご意見の提出先等、詳しくは県知事政策局のホームページ(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/kj00010232-002-01.html)をご覧ください。

この件のお問合せは 県知事政策局 総合計画・政策評価担当 ☎076-444-9609

?? 県政クイズ ??

○の中に言葉を入れてください。

県では、富山県森づくり条例に基づき、「富山県○○○○プラン」を策定しています。(ヒントは2ページにあります。)

正解者の中から10名の方に、「県産材の積木」をプレゼントします。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



宛先 ●〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」
締切 ●6月20日(月)(必着)

特集 ② 少人数教育の推進

「人づくり県」富山を目指して

学校教育への多様なニーズに対応するため、子どもたちに対するきめ細かな指導が求められています。県では少人数学級と少人数指導を推進し、工夫を凝らした教育指導で、教育効果の向上を目指しています。



① きめ細かな本県の少人数教育

県では、児童生徒が新しい小学校や中学校の生活に早く慣れ、学んだことをより深く理解できるよう、様々な支援をしています。国では、小学校1年生の35人学級が制度化されましたが、県では、既に小学校1年生と2年生で35人学級を実施



しているほか、中学校1年生では、学校の実情に応じて少人数学級を選択できる「中1・35人学級選択制」を導入しています。また、小学校の国語、算数、中学校の数学、英語等において、基礎・基本を徹底するための少人数指導を実施するとともに、小学校専科教員(*)や中1学級支援講師を配置するなど、子どもたち一人一人に対するきめ細かな指導を行っています。

② 小学校専科教員を大幅拡充

国の補助金が廃止されて厳しい状況のなか、県では本年度、小学校で理科や音楽などを教える小学校専科教員(*)を30人から66人に大幅に拡充しました。今回の拡充は、理科学習が始まるなど実技系教科の専門性が高まる小学校3・4年生を対象に、指導と支援を

行うことが目的です。専科教員が5・6年生を対象に教える小学校は全国でも多くありますが、3・4年生を対象とする例は少なく、先進的な取り組みといえます。



③ 少人数学級と少人数指導の良さをいかして

新しい学習指導要領が、小学校では本年度から、中学校でも来年度から完全実施されます。このため、一人一人の子どもに教員の目が行き届き、学習の様子や理解度、定着度に

じた授業を進めていくことが一層大切になります。県では少人数学級と少人数指導それぞれの良さをいかし、教育指導の工夫を凝らしながら、少人数教育の推進に努めていきます。

(*) 専科教員は、教科担任制となって、学習内容が高度化する中学校生活に円滑に移行するため、平成20年度から、小学校5・6年生を中心に理科や音楽などの専門性が活かされる教科に配置しています。

● 少人数学級と少人数指導の良さを取り入れた教育

小学校		中学校
<p>1・2年生</p> <p>1年生及び2年生での35人学級の実施</p> <p>基本的な生活習慣や基礎的な学習態度が身に付く、きめ細かな指導を行える環境づくり</p> <p>3～6年生</p> <p>少人数指導(国・算・理)</p> <p>○チームティーチングや課題別学習などの実施</p> <p>小学校専科教員の配置(理・音・図・体) H22年 30名 → H23年 66名</p> <p>[3・4年生] 理科学習がはじまるなど実技系教科の専門性が高まり、技能差が拡大する前の指導と支援</p> <p>[5・6年生] 専門性が生きる教科における高度な技能や技術を求める児童への対応</p>	<p>1～3年生</p> <p>中1・35人学級選択制の実施</p> <p>○学校の実情により少人数(35人)学級又は少人数指導を選択</p> <p>○授業時数の増加に対応するための正規職員と非常勤講師の配置</p> <p>中1学級支援講師の配置</p> <p>○学校不適應に対応するための非常勤講師の配置</p> <p>各学年での少人数指導</p> <p>○チームティーチングや課題別学習などの実施</p>	

教科担任制への円滑な接続

教育効果の向上

このページのお問合せは 県教育委員会教職員課 ☎076-444-3439 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3001/

県内おでかけ情報

●開催中～6月12日(日)まで

「現代中国の美術」—中国第11回全国美術展受賞優秀作品による—
 ㊦一般700円(550円)、大学生500円(380円)、小中高生無料

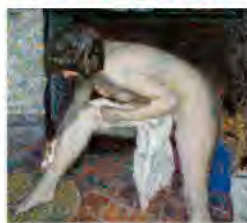
県立近代美術館

●7月1日(金)～8月21日(日)まで

開館30周年記念「20世紀美術冒険と創造」
 —ピカソ ミロ そしてウォーホルが駆け抜けた時代を見る—

㊦一般500円(400円)、大学生400円(300円)、小中高生無料

シュルレアリスム、戦後ヨーロッパの抽象絵画やアメリカ美術へ続く20世紀美術の多様な展開の軌跡を紹介します。新潟市美術館との共同開催。



ピエール・ボナール「浴室の裸婦」
1907年 新潟市美術館蔵

富山市西中野町1-16-12
 TEL 076-421-7111
 開館 ●9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館 ●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日
 交通 ●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料) / 富山駅から地鉄バスで「西中野口」下車、徒歩2分
 ※送料金の()内は20名以上の団体料金
<http://www.pref.toyama.jp/b-ranches/3042/3042.htm>

●6月18日(土)～7月18日(月)まで

立山博物館開館20周年記念特別企画展
 「綜覧 立山曼荼羅 絵で知る立山信仰の世界」

㊦一般700円(550円)、大学生500円(380円)、小中高生無料

県水墨美術館

県内外で確認されている立山曼荼羅47点を一堂に展示します。関連文献を交えて解説することで、立山曼荼羅の魅力をふんだんに引き出し、立山信仰の世界を分かりやすく紹介します。



「吉祥坊本立山曼荼羅(個人所蔵)」

富山市五福777
 TEL 076-431-3719
 開館 ●9:30～17:00(入室は16:30まで) 休館 ●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日
 交通 ●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(呉羽山ルート)で約6分(無料) / 市内電車大学前行「新富山」下車、徒歩約10分 ※送料金の()内は20名以上の団体料金
<http://www.pref.toyama.jp/b-ranches/3044/3044.htm>

「私の植物写真展」

6月6日(月)～6月22日(水)9:00～17:00 / サンライトホール「植物写真教室」の作品と一般から募集した作品を展示します。

「日曜植物案内」

毎月第1日曜 13:30～14:30
 見頃の植物や話題の植物について解説します。

「立山連峰高山を彩る花々」

6月24日(金)～7月13日(水)9:00～17:00 / サンライトホール
 写真家・高橋敬市氏が立山で撮影した高山植物の写真展です。

●6月～7月予定(開花日2日間)

「ゲッカビジン鑑賞」

ゲッカビジンの開花に合わせて2日間、夜間開園(21:30まで・入園は21:00まで)します。※詳しくは同園にお問い合わせください。



「ゲッカビジン」

県中央植物園

富山市婦中町上豊田42
 TEL 076-466-4187
 開園 ●9:00～17:00(入園は16:30まで)
 休園 ●木曜(祝日は開園)
 入園料 ●一般・大学生600円(480円)、小中高生無料
 ※送料金の()内は20名以上の団体料金
 交通 ●富山駅から地鉄バスで「中央植物園口」下車、徒歩10分
<http://www.bgtym.org/>

皇太子殿下をお迎えして、
 第22回 全国「みどりの愛護」のつどい

5月14日、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進するため、第22回全国「みどりの愛護」のつどいを、皇太子殿下をお迎えして、富岩運河環水公園等を会場に開催しました。

全国から緑化ボランティアら約1,500人が参加。みどりの愛護活動事例紹介や花と緑の愛護に顕著な功績があった団体の表彰の後、記念植樹がありました。

皇太子殿下のご来県は2000年以来11年ぶり。5月13日から14日までの2日間県内に滞在され、八尾



式典でお言葉を述べられる皇太子殿下

曳山展示館、中島閘門、富山大学附属特別支援学校をご訪問。多くの県民とのふれあいを深められました。

とやま発! 元気レシピ
 たけのこまんじゅう

- たけのこは堅い部分を擦りおろしましょう。
 ● Aにゆでたよもぎを混ぜてもOK。
 ● 帆立を鶏ももの挽肉に変えてもOK。
 ● 厚さを薄めにすれば、揚げるに、フライパンで焼くことができます。



1人分 約162kcal

作り方

- ① たけのこ、大和芋は擦りおろす。
- ② ①に帆立貝柱水煮をほぐして加え、上新粉、塩、生姜汁を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ③ ②を8等分にしまるめ、まわりに片栗粉をまぶし、170℃の油で揚げる。きつね色になったら取り出す。
- ④ Aの材料であんを作り、③にかけて青い葉を添える。

材料・分量(4人分)

- 【たけのこまんじゅう】
- ゆでたけのこ(160g)
 - 帆立貝柱水煮(4個)
 - 大和芋(60g)
 - 上新粉(大さじ2)
 - 生姜汁(1片分)
 - 片栗粉(適量)
 - 揚げ油(適量)
 - 塩(少々)
 - ※片栗粉でも可
- 【A】
- だし汁(200ml)
 - 酒(大さじ1)
 - 薄口醤油(大さじ1)
 - みりん(大さじ1)
 - 水溶き片栗粉(大さじ2)

竹林整備が盛んな富山市婦中町音川地区では、2mくらいに伸びたたけのこの先端部分「穂先たけのこ」を使った料理が広がっています。昔は捨てられていた部分とは思えないほど、食感はやわらかく、味も普通のたけのこに引けを取りません。穂先たけのこ料理を作り食べることで、美しく健全な竹林の維持に役立てるのもうれしいですね。

協力 ● 富山市食生活改善推進連絡協議会西ブロック

「県広報とやま」に関する
 ご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課まで TEL:076-444-3134 FAX:076-444-3478
 E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ <http://www.pref.toyama.jp/form.html>
 広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

モバイル県庁

携帯電話からも県の
 情報を見ることができます。
 (右のQRコードから)

